□□ CMS News Letter □□□□□□□□□□□□□Core Micro Systems □□□

I/Oインテンシブアプリケーション向け超高速サーバプラットフォーム
「SUPER SERVEシリーズ」を発表

～世界最高速クラスのSUPER SSD／SUPER RAID G3ベースの
次世代超高速INTEL XEON（E5シリーズ）サーバプラットフォーム～

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ Vol.023 2012/09/13 □□

いつもお世話になっております。
コアマイクロシステムズの吉政でございます。

一昨日発表いたしましたI/Oインテンシブアプリケーション向け超高速サーバプラットフォーム「SUPER SERVEシリーズ」をお伝えしたくメールマガジンを発行いたしました。

近年、ビジネスの高度化と技術開発のスピードにおいて、競争が一段と激しくなってきています。これらの競争の時代に勝ち抜いていくためには、リアルタイムに情報を処理し、分析／解析していく必要があります。コアマイクロシステムズでは、最新かつ先端の半導体ストレージ技術を基にした、圧倒的な性能指標を持つSUPER SERVEシリーズを開発しました。従来の一般的な構成であるサーバ＋汎用RAID装置と比較して、最大100倍クラスのI/O処理能力を誇ります。今まで、リアルタイムなBI／DWHや各種シミュレーションには、コスト面で手が届かなかった中堅／中小企業のユーザー様に納得のいただけるコストで提供できる様になりました。本製品により、ユーザー様のビジネスの効率化と競争力の強化に貢献できるものと確信しています。

興味がある方は、以下より本製品のスペックや価格をご覧ください。

Super SSD Enterprise(G3)(SLCモデル)
URL　http://www.cmsinc.co.jp/news/2012/news20120911.html

□□ INDEX　□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[News & Topics]

◇9月11日発表
I/Oインテンシブアプリケーション向け超高速サーバプラットフォーム
「SUPER SERVEシリーズ」を発表

～世界最高速クラスのSUPER SSD／SUPER RAID G3ベースの
次世代超高速INTEL XEON（E5シリーズ）サーバプラットフォーム～

[Web更新情報]

【資料公開】世界最高速クラスの国産半導体ストレージを支える国産技術
「スーパーストレージのご紹介　～B+TREEフル連想型大容量キャッシュ技術～」

【資料公開】「次世代CG/映像プロダクション向け高効率コラボレーション
ワークフロー対応シェアードストレージソリューション」

【資料公開】「クラウド時代のストレージとは」

【資料公開】「学術研究用　ハイパフォーマンスコンピューティング及びエンジニアリング用テクニカルコンピューティング向けサーバ & ストレージ トータルソリューション」

[ストレージ・マーケティングコラム]

第十回：ビッグデータのインフラ化

□□

◆◆>[News & Topics]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[News & Topics]

◇9月11日発表
I/Oインテンシブアプリケーション向け超高速サーバプラットフォーム
「SUPER SERVEシリーズ」を発表

～世界最高速クラスのSUPER SSD／SUPER RAID G3ベースの
　次世代超高速INTEL XEON（E5シリーズ）サーバプラットフォーム～

URL　http://www.cmsinc.co.jp/news/2012/news20120911.html

解説：弊社が自社の半導体ストレージの販売を始めて今月でちょうど8年になります。弊社の半導体ストレージは「SUPER STORAGE」シリーズと呼んでおり、製品名の頭に「SUPER」が付くと半導体系のストレージになります。いよいよ本格化する半導体ストレージの市場にむけてラインナップも充実してきています。半導体ストレージを検討される際は是非弊社の製品をご採用ください。そこには先人のノウハウと先行のメリットがあります。（吉政）

◆◆>[Web更新情報]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

以下の4本の資料を公開しています。

【資料公開】世界最高速クラスの国産半導体ストレージを支える国産技術
「スーパーストレージのご紹介　～B+TREEフル連想型大容量キャッシュ技術～」

【資料公開】「次世代CG/映像プロダクション向け高効率コラボレーション
ワークフロー対応シェアードストレージソリューション」

【資料公開】「クラウド時代のストレージとは」

【資料公開】「学術研究用　ハイパフォーマンスコンピューティング及びエンジニアリング用テクニカルコンピューティング向けサーバ & ストレージ トータルソリューション」

資料のダウンロードは以下よりお願いいたします。
http://www.cmsinc.co.jp/doccenter/index.html

◆◆>[ストレージ・マーケティングコラム　]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第十回：ビッグデータのインフラ化

◇◇

巷のニュースでもビッグデータという言葉をよく聞くようになりました。

ビッグデータは文字通り「巨大なデータの塊」ということなのですが、このビッグデータをもっと有効活用出来るようにあらゆる方面で検討、実現しはじめているようです。そのような動きを「ビッグデータのインフラ化」というようになってきています。

「ビッグデータのインフラ化」とは、世の中のあらゆるデータを収集し分析し、世の中に役立てるためのデータ収集ネットワークと分析再利用ネットワークができる状態をさします。簡単に言えば、データの収集から分析、再利用までがシステム化され、社会・社内インフラとして稼働しているような状態です。

そういう意味では、部分的に利用が始まっています。このインフラ化の定義でいえば、コンビニのPOSシステムもその一つです。コンビニで購入される方の情報や気象情報などが収集され、仕入れや製造、棚割りなどにかなりリアルタイムに近い状態で活用されています。

このように「ビッグデータのインフラ化」が進んでくると、入力されたデータがそのサーバや端末でとどまることなく、どこかのサーバに集約されていく状態がどんどん浸透していきます。この状態では、データを分析するタイミングは、リサーチャーがバッチ的に調査を行うタイミングではなく、常にリアルタイムに調査を行っていくような状態になります。

ここであえて言うまでもないですが、ストレージとしてはランダムな超高速なI/Oと大容量、高信頼性が求められます。この分野においてはSDD以外のストレージの選択肢は考えにくく、SSDの老舗でもある弊社のスーパーストレージ・シリーズにはぜひご注目いただきたいです。

※参考情報：
「スーパーストレージ（半導体ストレージ関連）詳細資料」
※本資料は以下よりダウンロードください。
http://www.cmsinc.co.jp/doccenter/index.html

（マーケティング・アドバイザー　吉政忠志）

□□□